

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和60年9月1日 第21報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis incerta*</i>	60		
(藍) <i>Chroococcus dispersus var. minor*</i>	20		
(藍) <i>Anabaena spiroides*</i>	20		
(藍) <i>Anabaena macrospora*</i>	60		
(藍) <i>Anabaena affinis*</i>	1280	◎	◎
(藍) <i>Raphidiopsis sp.*</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	1260		○
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	40		
(珪) <i>Synedra acus var. radians</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	120		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	20		
(緑) <i>Carteria globosa</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	◎	
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	1440	33.2	46.4
(黄) 黄緑藻綱	20	0.5	0.4
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1420	32.7	25.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	2.8	2.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1340	30.9	25.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	4340	総体積	7.73E+06
種 類 数	16	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Anabaena affinis*</i>	1280

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

植物プランクトン第1優占種



Anabaena affinis
(アナベナ)
藍藻綱

糸状体は単独または束状の群体をつくる。細胞は球形または短い樽形である。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。